

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年7月20日

計画の名称	1 秦野駅周辺地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備																														
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度 (4年間)				交付対象	秦野市																									
計画の目標	本地区は、秦野駅直近の地区にも関わらず無秩序な土地利用が行われていることから、都市基盤整備の推進を図り、健全な市街地と住み良い住環境を形成する。また、地区内には名水百選に選定されている秦野盆地湧水群の一つが存在していることから、湧水の保全を考慮した都市基盤整備を行う。																														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市基盤（道路・公共下水道）が整備された宅地の割合を0%（H24）から100%（H27）に増加。</li> <li>荒井湧水を訪れる人を0人/日（H24）から100人/日（H27）に増加。</li> <li>秦野駅南部（今泉地区）土地区画整理事業区域内の消防車が円滑に消化活動できる宅地率を38.1%（H24）から89.3%（H27）に増加。</li> </ul>																														
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 都市施設が整備されている宅地の割合 (都市施設整備済宅地率) = (4m以上の道路への接道及び公共下水道が整備されている宅地の面積) / (区域内宅地面積)</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 荒井湧水を訪れる人数を調査する。 荒井湧水を1日に訪れる人数</td> <td>0人/日</td> <td>-</td> <td>100人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 消防車で円滑に消火活動できる宅地率 (消防車で円滑に消火活動できる宅地率) = (消防車が円滑に通行できる道路に面する宅地面積) / (都市計画決定区域内全宅地面積)</td> <td>38.1%</td> <td>-</td> <td>89.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H27末)	① 都市施設が整備されている宅地の割合 (都市施設整備済宅地率) = (4m以上の道路への接道及び公共下水道が整備されている宅地の面積) / (区域内宅地面積)	0%	-	100%		② 荒井湧水を訪れる人数を調査する。 荒井湧水を1日に訪れる人数	0人/日	-	100人/日		③ 消防車で円滑に消火活動できる宅地率 (消防車で円滑に消火活動できる宅地率) = (消防車が円滑に通行できる道路に面する宅地面積) / (都市計画決定区域内全宅地面積)	38.1%	-	89.3%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																											
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H27末)																												
① 都市施設が整備されている宅地の割合 (都市施設整備済宅地率) = (4m以上の道路への接道及び公共下水道が整備されている宅地の面積) / (区域内宅地面積)	0%	-	100%																												
② 荒井湧水を訪れる人数を調査する。 荒井湧水を1日に訪れる人数	0人/日	-	100人/日																												
③ 消防車で円滑に消火活動できる宅地率 (消防車で円滑に消火活動できる宅地率) = (消防車が円滑に通行できる道路に面する宅地面積) / (都市計画決定区域内全宅地面積)	38.1%	-	89.3%																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	593百万円	A	460百万円	B	55百万円	C	78百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13.2%																					
<b>事後評価</b>																															
○事後評価の実施体制、実施時期																															
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期																										
秦野市職員による評価を実施					平成28年7月																										
					公表の方法																										
					秦野市WEBページに掲載																										
1. 交付対象事業の進捗状況																															
交付対象事業																															
A1 基幹事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																
									H24	H25	H26	H27	H28																		
1-A-1	都再区画	一般	秦野市	間接	土地区画整理組合	秦野市秦野駅南部（今泉荒井）土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=3.2ha	秦野市						460																	
合計														460																	
B 関連社会資本整備事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																
									H24	H25	H26	H27	H28																		
1-B-1	下水道	一般	秦野市	直接	秦野市	公共下水道整備工事	公共下水道（汚水・雨水） L=1,490m(A=3.15ha)	秦野市						55																	
合計														55																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																
1-B-1	土地区画整理区域及び下流の下水道を一体で整備することにより、土地区画整理区域内の公共下水道が供用できる																														
C 効果促進事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																
									H24	H25	H26	H27	H28																		
1-C-1	道路	一般	秦野市	直接	秦野市	市道734号線整備事業	L=126m	秦野市						78																	
合計														78																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																
1-C1-1	都市計画道路秦野連絡線から土地区画整理事業区域へ幹線区画道路を整備することにより、区画整理区域内の宅地の利便性が向上する。																														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理事業区域内に都市施設が整備された宅地が完成し、土地区画整理事業区域の人口が増加した。</li> <li>・ 荒井湧水を公園として整備保全したことにより、付近の住民だけでなく、ハイカーなどの観光客も公園を訪れている。</li> <li>・ 土地区画整理事業区域及び関連周辺道路を整備したことにより、狭小道路を通らずに到達できる宅地が増え、緊急車両の通行が容易になった。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標①（都市施設が整備されている宅地の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因 計画どおり組合土地区画整理事業及び関連道路の整備が完了したことにより、目標値を達成した。
		最終実績値	100%	
	指標②（荒井湧水を訪れる人数）	最終目標値	100人/日	目標値と実績値に差が出た要因 荒井湧水周辺を土地区画整理事業により公園として整備したが、周辺の土地利用が当初の想定より早く進んだことや、公園内を通行する歩行者が多く、目標値を超えることとなった。
		最終実績値	397人/日	
	指標③（消防車で円滑に消化できる宅地率）	最終目標値	89.3%	目標値と実績値に差が出た要因 計画どおり組合土地区画整理事業及び関連道路の整備が完了したことにより、目標値を達成した。
		最終実績値	89.3%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理区域内の道路及び市道734号線が整備されたことにより、周辺住宅地の狭小道路において通過交通が減少し、交通の安全性が増した。</li> </ul>		
3. 特記事項（今後の方針等）				
<p>秦野駅南部土地区画整理事業区域は、昭和54年に30.4haが都市計画決定され、秦野駅南口広場を含む13.2haについては平成11年に事業が完了した。残された17.2haの内、農地として利用されていた区域（3.2ha）を、平成24年12月から組合施行による秦野駅南部（今泉荒井）土地区画整理事業として実施し、平成28年3月に事業が完了した。</p> <p>今後は、土地区画整理事業で整備した湧水公園をまちのシンボルとし、駅に近い安らぎある良好な住宅地として、まちづくりを図っていくものです。</p>				

計画の名称	1 秦野駅周辺地区の良好な市街地を形成するための都市基盤整備	交付対象	秦野市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)		

